

【重要行事・必ず参加してください】

フレッシューズセミナー(旧・対面式)

4月9日(水)13時～ 824教室

【新入生履修登録説明会】

1. 学籍番号とクラス分け

学籍番号は、la2513**のようになっています。最初の la は東アジア地域言語学科を示しています。次の 25 は 2025 年入学(25 番台)を示します。

LA の新入生には、基本クラス(LA1 クラス、LA2 クラス)があり、LA の多くの授業はこの二つのクラスに分かれて学びます。また、1 年次の必修科目となっている「中国・韓国学入門演習 A」(前期)ならびに「中国・韓国学入門演習 B」(後期)の授業では以下の 4 つのクラスに分かれています。これも学籍番号で決まっています。

中国・韓国学入門演習 A(前期)・B(後期)

(A)クラス:水曜 3 限(前:大澤先生/後:安藤先生) (B)クラス:水曜 2 限(前:新里先生/後:安藤先生)

(C)クラス:木曜 2 限(前:大澤先生/後:新里先生) (D)クラス:水曜 3 限(前:安藤先生/後:大澤先生)

⇒ 「基本クラス(LA1・LA2)」ならびに「入門演習 A・B(A～D)」の具体的なクラス分けは付録②を参照

2. 単位について

単位とは、所定の期間授業を受け、試験その他で合格点を得た場合に取得できるものです。単位を取得して卒業するにはいろいろな決まりがあります。LA では4年間で最低 **128 単位** を取得すると卒業(学士号を授与される)できることになっています(以下の【表1】参照)。 学修ガイド 298～299 頁

【表1】

128 単位以上	必修科目(36 単位)	選択必修科目(36 単位) (事実上の必修)	選択科目(38 単位)	自由履修科目(18 単位)
共通教育科目	外国語・保健体育など 20 単位	総合教養科目 20 単位		総合教養科目・外国語など
専門教育科目	中国・韓国学入門演習 AB 中国/韓国事情概説 中国/韓国語入門 AB 16 単位	(コース別) 中国/韓国語基礎 AB 中国/韓国学基礎演習 AB 中国/韓国学演習 I AB 中国/韓国学演習 II AB 16 単位	概説/特講/講読 中国/韓国学文献講読 中国/韓国語表現法 アクティブ中国・韓国語 「卒業論文」など 38 単位以上	LA の専門教育科目
関連教育科目				LA の関連教育科目

注意点:

- ① 学科が認めている科目から、上記の条件を満たすように計画的に科目を選んで、4 年間で取得します。
- ② LA 専門科目および共通教育の講義科目(総合教養科目など)は半期 1 コマで 2 単位、語学やスポーツ演習は半期 1 コマで 1 単位として計算します。
- ③ 総合教養科目(選択必修の②④単位)には、人文科学系④単位・社会科学系④単位・自然科学系④単位を必ず含まなければなりません。

④ 1年次生は2年次以上対象の科目を取ることはできません。**東アジア地域言語学科時間割・シラバス**

⑤ 本学科では、1年次に中国・韓国の双方を学んだのち、9～10月頃に中国・韓国のどちらのコースに進むのかを選び、2年次以降は中国あるいは韓国についてより専門的に学びます。**学修ガイド117頁**

⇒ **従って、単位取得のめやすは年間40～45単位です(【表2】参照)。**

【表2】

	1年次		2年次	3年次	4年次
必修科目 (36単位)	☆ 共通教育科目 中国語 I AB④ 朝鮮語 I AB④ コア・イングリッシュ I ① プラクティカル・イングリッシュ II ① 生涯スポーツ演習 I・II ② ☆ 専門教育科目 入門演習 AB④ 中国事情概説② 韓国事情概説② 中国語入門 AB④ 韓国語入門 AB④ (一年次で合計 28 単位)	中国コース	中国語 II AB 中国学基礎演習 AB	中国学演習 I AB	中国学演習 II AB
専門科目の 選択必修 (16 単位以上)		共通	コア・イングリッシュ III ① プラクティカル・イングリッシュ III ① 生涯スポーツ論 * CE III・PE III は前期科目	韓国学演習 I AB	韓国学演習 II AB
		韓国コース	朝鮮語 II AB 韓国学基礎演習 AB		
選択総合教養科目 (20 単位以上)	(人文科学系④以上、社会科学系④以上、自然科学系④以上を必ず含むこと)				
選択専門科目 (38 単位以上)	専門教育科目(「卒業論文」など)				
自由履修科目 (18 単位以上)	共通教育科目・ 専門教育科目・ 関連教育科目				

⇒ **【表2】の1年次の科目を時間割表に入ると次のようになります(【表3】参照)。**

* 2025年度のLA1年次生の基本となる時間割(履修すべき必修・選択必修科目)は全部で28単位となっています

(薄橙色のセルに入っている授業は、必ず登録すること。○数字は単位数) ※空いているところに共通教育科目など

【表3】

		月	火	水	木	金
1	前期			GE I ①	(保健①)	
	後期				(保健①)	
2	前期	中国語入門 A(LA1)②	韓国語入門 A(LA2)②	中・韓入門演習 A(B)②	中・韓入門演習 A(C)②	中国語 I A①
	後期	中国語入門 B(LA2)②	韓国語入門 B(LA1)②	中・韓入門演習 B(B)②	中・韓入門演習 B(C)②	中国語 I B①
3	前期	韓国事情概説②	中国語 I A①	中・韓入門演習 A(A, D)②		
	後期		中国語 I B①	中・韓入門演習 B(A, D)②		PE II ①
4	前期	朝鮮語 I A①	生涯スポーツ演習 I ①	朝鮮語 I A①	中国語入門 A(LA2)②	韓国語入門 A(LA1)②
	後期	朝鮮語 I B①	生涯スポーツ演習 II ①	朝鮮語 I B①	中国語入門 B(LA1)②	韓国語入門 B(LA2)②
5	前期		中国事情概説②			
	後期					

注意点:

* 中国語 I AB ならびに朝鮮語 I AB のクラス担当は以下の通りです。自分が該当するクラスに登録してください。

中国語 I A(火3) LA1:王美蘭先生 LA2:王一萍先生 / (金2) LA1:王美蘭先生 LA2:王一萍先生

中国語 I B(火3) LA1:王一萍先生 LA2:王美蘭先生 / (金2) LA1:王一萍先生 LA2:王美蘭先生

朝鮮語 I A(月4) LA1:鄭先生 LA2:權先生 / (水4) LA1:鄭先生 LA2:權先生

朝鮮語 I B(月4) LA1:權先生 LA2:鄭先生 / (水4) LA1:權先生 LA2:鄭先生

- ① 講義科目は1コマ(前期あるいは後期)②単位、語学やスポーツ演習は1コマ①単位で計算します。
- ② 中国語 I AB・朝鮮語 I AB はそれぞれ週に2回(2コマ)の授業があります(クラス指定で履修登録)。
- ③ 中国語入門 AB・韓国語入門 AB は週に1回(1コマ)の授業を指定されたクラスで履修します。
- ④ 中国・韓国学入門演習 AB は指定されたクラス、教員で履修します。
- ⑤ 同一名科目(中国語 I、朝鮮語 I、中国語入門、韓国語入門、入門演習など)は前後期で教員が交代します。
- ⑥ 一年間に登録できる単位数は45単位まで、各期に登録できるのは25単位まで。上記の科目(合計28単位)以外、あと最大17単位分(実質的には16単位=8科目)、共通教育科目などを登録できます。
- ⑦ **一年間で最低40単位以上を登録すること(40単位以下の場合、事務室から呼出あり)。**また、1年次の必修を落とした場合は再履修する必要があります。
- ⑧ 履修した科目の試験日が重なっていることがあるので **学修ガイド 27~28 頁(試験時間割表)**で確認を!
- ⑨ 保健コースは面談の上、認められた学生のみが履修できます。まずは火曜4限の「生涯スポーツ演習」を登録してください。**学修ガイド 60 頁**
- ⑩ 上の表の白いセル(科目が記入されていないコマ)には共通教育などの科目で履修したい科目を登録できます。

3. 東アジア地域言語学科で取れる資格

(1) 日本語教員課程 **学修ガイド 147~150 頁**

履修希望者は、必ず「受講説明動画」を視聴すること。受講説明動画に関する情報は前後期に各一回、FUポータルに掲載されます。

(2) 中国語や朝鮮語の教員免許が取得できます。

《教職課程・博物館学芸員課程・社会教育主事課程履修の手引き》は4月2日以降、文系センター棟低層棟1階の教職課程教育センターで受け取ることができます。

中国コース: 外国語(中国語)(中学校教諭一種免許、高校教諭一種免許)

韓国コース: 外国語(朝鮮語)(中学校教諭一種免許、高校教諭一種免許)

※また、条件を満たせば、さらに国語科の教員免許も取れます。(在学中に取得するためには1年次の履修方法に注意)。特に気をつけてほしいのは、国語免許を目指す場合には「日本語学概論」および「日本文学概論」は一年次には履修しないこと。これらの科目の単位を修得すると、在学中に国語科免許の取得ができなくなります。

【参考】2025年度日本語教員あるいは教職の資格を取ろうとする場合のモデル時間割(【表4】)

●教職課程を取る場合必要な科目 ■日本語教員課程を取る場合必要な科目 *印は複数時間開講科目

【表4】

		月	火	水	木	金
1	前期		■日本語学概論 I	CE I ①	(保健①)	●コンピュータ入門 I (制限科目)
	後期		■日本語学概論 II		(保健①)	●コンピュータ入門 II (制限科目)
2	前期	中国語入門 A(LA1)② ●教育心理学#	韓国語入門 A(LA2)② ●教職概論#	中・韓入門演習 A(B)②	中・韓入門演習 A(C)② ●教職概論#	中国語 I A①(LA1・2)
	後期	中国語入門 B(LA2)②	韓国語入門 B(LA1)②	中・韓入門演習 B(B)②	中・韓入門演習 B(C)②	中国語 I B①(LA2・1)
3	前期	韓国事情概説②	中国語 I A①(LA1・2)	中・韓入門演習 A(A, D)②		●教職概論#
	後期		中国語 I B①(LA2・1)	中・韓入門演習 B(A, D)② ●教育の原理・課程論#		PE II ①
4	前期	朝鮮語 I A①(LA1・2)	生涯スポーツ演習 I ①	朝鮮語 I A①(LA1・2)	中国語入門 A(LA2)②	韓国語入門 A②(LA1)
	後期	朝鮮語 I B①(LA2・11)	生涯スポーツ演習 II ①	朝鮮語 I B①(LA2・1)	中国語入門 B(LA1)②	韓国語入門 B②(LA2)
5	前期		中国事情概説②		■日本文学概論 I ●教育心理学#	
	後期		●教育の原理・課程論#	●日本国憲法	■日本文学概論 II	

注意点: 教職課程の科目は他にも多数開講されていますので、詳細は教職課程の時間割を参照してください。

4. 履修登録 学修ガイド巻末 2025 履修登録の手引き

- 履修登録は、決められた日時に Web 上(FU ポータル)で行います。

登録制限科目: 4月3日(木)・4日(金)の指定時間 学修ガイド 42~45 頁

ほかの科目: 4月5日(土)、4月6日(日)の指定時間 学修ガイド巻末 履修登録の手引き 2 頁

※基本的には自宅から登録を行います

自宅に PC 環境が整っていない学生向けに、文系センター3階の PC 教室を開放しています(履修登録期間中の 8 時~20 時)。ここを利用し、各自で登録することも可能です。

重要!

【重要】履修登録を始める前に！

(1) FUポータル(<http://portal.fukuoka-u.ac.jp/>)にアクセスして、学生プロフィールに必要事項を入力する。**学修ガイド巻末 履修登録の手引き 4～10 頁**

学生プロフィールが入力されていないと、履修登録画面に進めません。学生の基本情報が必要です。

[ログイン]→[共通メニュー]→[Webプロフィール【学生】]→[プロフィール情報修正]

Webプロフィール終了後、アンケート画面が出ますので、回答してください。

(2) 時間割の下書きを作る。**学修ガイド巻末 履修登録の手引き 3 頁／東アジア地域言語学科授業時間割**(3) FU プラスアップ授業：スタートアップ授業を確認すること。**学修ガイド 33 頁**

(4) 4月3日(木)・4日(金)に制限科目を登録する。(前もってWeb上で申し込み、すべて抽選)で登録する科目)

「登録者が多い科目①表 1(2～4 限)」3日(木)9:00～12:59(結果発表は同日 20:00)**学修ガイド 45～48 頁**「登録者が多い科目①表 2(1・5 限)」4日(金)9:00～12:59(結果発表は同日 20:00)**学修ガイド 49～50 頁**「ゼミナール形式科目②」4日(金)9:00～12:59(結果発表は同日 20:00)**学修ガイド 51～52 頁**「教養ゼミ科目」4日(金)9:00～12:59(結果発表は同日 20:00)**学修ガイド 53～54 頁**「総合系列科目」**学修ガイド 56 頁**、「学修基盤科目」**学修ガイド 57 頁**などは「留意事項」の欄に「登録履修制限科目②」と記載されている場合は、指定の期日・時間(4日(金)9:00～12:59)に、空欄の場合は、通常の履修登録の時間に登録すること。なお、専門・関連教育科目である「コンピュータ入門Ⅰ」、「コンピュータ入門Ⅱ」の登録時間は、4月4日(木)9:00～15:00です。**学修ガイド 97 頁**(5) 学修基盤科目である「データサイエンス・AI 入門」は、オンライン上で e-Learning を使って自ら学んでいく科目です。**学修ガイド 58 頁**

「データサイエンス・AI 入門_紹介動画_2023.mp4」

⇒ <https://fukuoka-u.app.box.com/s/1b025u8svlawot0btdqysfz4jucpsxbx>

※ ただし、無理をして入れない！

すべての時間割を事前に完成させ、**空きがあれば**制限科目を履修登録(3日・4日)。**◎必修・選択必修のところに、制限科目を入れないこと！！ 登録変更・撤回は不可能です。****5. 各種ガイダンス** **新入生スタートダッシュブック 3～5 頁**

(1) 教職課程履修ガイダンス

4月2日(火) 13時～ 831 教室 (教職課程の受講方法や履修登録について対面でガイダンスを行う)

対面でのガイダンスに参加できない場合はオンデマインド動画を視聴、4月2日にFUポータルで公開予定

(2) 奨学金(書類の受け取り)

① 予約申込者：4月1日(火)～4日(金) 9時～16時 (1日(火)のみ 12時～16時)

場所：10号館1階 1012 教室

② 入学後新規申込希望者：4月1日(火)～4日(金) 9時～16時(1日のみ 12時～16時)

場所：10号館1階 1013 教室

(3) 2025 留学フェア：4月7日(月)～9日(水) 10時～16時 場所：中央図書館1階多目的ホール

6. その他の注意事項

- (1) 学生証：出席調査、定期試験の受験、学割、あらゆるシーンで必要です。常に携帯しておきましょう。
- (2) FUポータル：科目履修登録はもちろん、成績発表もここから見ます。大学・学部・学科からの重要なお知らせはすべてここに送られてきます。一日1回はチェックしましょう。[学修ガイド 15 頁](#)
- (3) 授業管理：FUポータルの機能の一つ。これを使って授業資料やお知らせを送る教員もいるので、早めに使いに慣れましょう。
- (4) GPA：Grade Point Average の略。成績だけではなく単位数も計算に入るため、たくさん登録して安易に放棄するとGPAが下がります。履修計画は慎重に立てましょう。[学修ガイド 25 頁](#)
- (5) 補講日：授業回数の関係で土曜や祝日に授業や補講があります。前もって一年のスケジュールをチェックしておきましょう。[学修ガイド 9～10 頁](#) 福大生仕様のスグレモノ「学生手帳」♪ しっかり活用しよう
- (6) 教室：開講日までにFUポータルにログインして調べる。[学修ガイド 20 頁](#)／[巻末 履修登録の手引 26 頁](#)
[ログイン]→[共通メニュー]→[Web 履修登録]→[時間割表(教室割照会)]
「キャンパスマップ」で、キャンパス内の建物を確認しておこう！
- (7) 教科書購入 [学修ガイド 20 頁](#)
販売期間：4月2日(水)～4月18日(金)【土、日を除く】
販売場所：福岡大学 有朋(ゆうほう)会館 2階ラウンジ
インターネット注文もできます。http://fukudai-text.net を参照
- (8) 「福大生のための学習ナビ 2025」について
機構のホームページ(<http://www.idshe.fukuoka-u.ac.jp/gakunavi.html>)に動画版も掲載しています。ご活用ください
- (9) 2025年度の授業開始日：4月11日(金)

※履修登録に関して不明な点があれば、学科の教務担当教員の大澤(osawatakeshi@fukuoka-u.ac.jp)にメールで問い合わせを。その際、最初に、LA新入生であることと氏名を明記してください。また、メールの見落としを予防するため、学科主任の安藤先生(andojk@fukuoka-u.ac.jp)を「Cc:」(同報メールのあて名)に入れてください。

履修登録に関する相談受付時間：

4月3日(木)・4日(金)(制限科目登録：希望者のみ登録)：9時～12時59分

担当：大澤(osawatakeshi@fukuoka-u.ac.jp) Cc: 安藤(andojk@fukuoka-u.ac.jp)

4月6日(日)(履修登録：この日は全員が登録)：10時40分～12時10分

担当：大澤(osawatakeshi@fukuoka-u.ac.jp) Cc: 安藤(andojk@fukuoka-u.ac.jp)

【付録①】次の表に履修登録の下書きをしてみましょう

・ 中国語 I AB、朝鮮語 I AB、中国語入門 AB、韓国語入門 AB は LA1 クラスと LA2 クラスがあります。また、中国・韓国学入門演習 AB は、4 つのクラスに分けられています。次のページの付録②に記載されている学籍番号のクラスに登録してください。自分が履修するクラスを囲んでみましょう。また、受講しないクラスには横線を引き消しましょう。

★注意: 必修・選択必修のところ、制限科目を入れないこと! 登録後の変更や撤回はできません。

		月	火	水	木	金
	前期			CE I ①	(保健①)	
	後期				(保健①)	
2	前期	中国語入門 A(LA1)②	韓国語入門 A②	中・韓入門演習 A②	中・韓入門演習 A②	中国語 I A①
		(LA1)	(LA2)	(B)	(C)	(LA1・LA2)
		[伊伏]	[朱]	[新里]	[大澤]	[王美蘭, 王一萍]
	後期	中国語入門 B(LA2)②	韓国語入門 B②	中・韓入門演習 B②	中・韓入門演習 B②	中国語 I B①
		(LA2)	(LA1)	(B)	(C)	(LA1・LA2)
		[伊伏]	[朱]	[安藤]	[新里]	[王一萍, 王美蘭]
3	前期	韓国事情概説②	中国語 I A①	中・韓入門演習 A②		
		[緒方]	(LA1・LA2)	(A, D)		
			[王美蘭, 王一萍]	[大澤, 安藤]		
	後期		中国語 I B①	中・韓入門演習 B②		PE II ①
			(LA1・LA2)	(A, D)		
			[王一萍, 王美蘭]	[安藤, 大澤]		
4	前期	朝鮮語 I A①	生涯スポーツ演習 I	朝鮮語 I A①	中国語入門 A②	韓国語入門 A②
		(LA1・LA2)	①	(LA1・LA2)	(LA2)	(LA1)
		[鄭, 権]		[鄭, 権]	[何]	[尹]
	後期	朝鮮語 I B①	生涯スポーツ演習 II	朝鮮語 I B①	中国語入門 B②	韓国語入門 B②
		(LA1・LA2)	①	(LA1・LA2)	(LA1)	(LA2)
		[権, 鄭]		[権, 鄭]	[何]	[尹]
5	前期		中国事情概説②			
			[大澤]			
	後期					

【付録②】

1. 基本クラス

★ 学科基本クラス	LA1	LA251301～LA251338	LA2	LA251339～LA241375
-----------	-----	-------------------	-----	-------------------

* 編転入生については、別途、履修クラスを案内します。

2. 「中国・韓国学入門演習 AB」クラス

中国・韓国学入門演習 A(前期)・B(後期)

- (A)クラス:水曜 3 限(前:大澤先生/後:安藤先生) (B)クラス:水曜 2 限(前:新里先生/後:安藤先生)
(C)クラス:木曜 2 限(前:大澤先生/後:新里先生) (D)クラス:水曜 3 限(前:安藤先生/後:大澤先生)

(A)水曜 3 限(大澤・安藤)		(B)水曜 2 限(新里・安藤)		(C)木曜 2 限(大澤・新里)		(D)水曜 3 限(安藤・大澤)	
LA251301	LA251305	LA251302	LA251306	LA251303	LA251307	LA251304	LA251308
LA251309	LA251313	LA251310	LA251314	LA251311	LA251315	LA251312	LA251316
LA251317	LA251321	LA251318	LA251322	LA251319	LA251323	LA251320	LA251324
LA251325	LA251329	LA251326	LA251330	LA251327	LA251331	LA251328	LA251332
LA251333	LA251337	LA251334	LA251338	LA251335	LA251339	LA251336	LA251340
LA251341	LA251345	LA251342	LA251346	LA251343	LA251347	LA251344	LA251348
LA251349	LA251353	LA251350	LA251354	LA251351	LA251355	LA251352	LA251356
LA251357	LA251361	LA251358	LA251362	LA251359	LA251363	LA251360	LA251364
LA251365	LA251369	LA251366	LA251370	LA251367	LA251371	LA251368	LA251372
LA251373		LA251374		LA251375			

* 編転入生については、中国・韓国学入門演習 A のみ履修です。C クラス(木2)で履修登録してください。

【さいごに】

要確認!

●「FU プラスアップ授業(スタートアップ授業・中間フォローアップ授業)」について

通常、大学では、前期と後期にそれぞれ 15 回の授業が行われますが、福岡大学では前期・後期ともに第 1 回目の授業は授業ガイダンスを中心とした「スタートアップ授業」として実施され、なおかつ「オンライン(動画視聴)」方式で受講するシステムになっています。

→みなさんは、4 月 2 日以降、指定の期日に履修登録作業を行うのと同時に、自分が受講するすべての授業の「スタートアップ授業動画」を視聴し、授業の概要(シラバス情報)などを確認します。また、それぞれの授業動画では、原則、「課題」が指定され、決められた期日までに決められた方法で課題を行い、科目によっては指定の方法で「課題」を提出するなど、最初の対面授業(4 月 11 日(金)より)が実施されるよりも前の期間(4 月 2 日(水)以降)に、本年度に履修する授業(まずは前期・通年分)を視聴する必要があります(詳しくは **学修ガイド 33～34 頁** を参照)